

### ほくたち! わたしたち! こども消防隊

## 活動を重ねて成長する子どもたち



新たに13人が入隊したこども消防隊46人が5月8日(土)、今年度の活動をスタート。この日は3・4年生と5・6年生のチームに分かれて、基礎訓練のほか実践的な訓練を行いました。説明する消防士さんに「なんで?」「どうして?」と質問をしたり、大人も思わず怯ひるんでしまうような、はしごに登る訓練を「やりたい!」と積極的に手をあげたりする子どもたち。

今年度の隊長を務めるのは加藤凜くん(糸魚川小学校

6年生)。「駅北大火を見て、火事はすごく危ないと思ったので、入隊しました。今年は、隊長としてみんなのお手本になれるように頑張っていきたいです」と、力強く目標を話してくれました。そして、「防災に限らず、消防の仕事についても興味を持つようになりました」と、子どもたちの姿を見てきた保護者の声。

みんなと集まり活動することで、消防や防災のことに興味や疑問を持ち、日頃の意識の大切さを学んでいます。



3・4年生  
チーム

まずは、消防隊員の基本である敬礼や整列、行進等の規律訓練を習います。その後、消防車両や実際に訓練で使われている機具を見せてもらいました。似たように見える車両でも、運べる水量や用途が違います。



5・6年生  
チーム

↑せまい場所を通過して30kgの人形を救助。  
←ハーネスを付け、はしごを10mの高さまで登ります。



### 第11歩!

#### 「地区や仲間同士の集いの場に!」

駅北地区を回っていると「皆で集まって、お話しする場所が欲しい」という声を耳にします。そんな皆さんから利用して欲しい施設が、新七区にある復興住宅の「交流スペース」です!ここは誰でも手軽に無料で利用でき、キッチンやテーブル、椅子等の設備も充実しています。茶話会や健康体操等の幅広い活動が可能ですので、地区や仲間同士の「集いの場」にピッタリです。ぜひご利用ください。利用方法等は建設課管理住宅係(TEL.552-1511)へお問合せください。



大火復興集落支援員 岡尾優太